

推薦調書（アイデア部門）

推薦都道府県

和歌山県

地方公共団体名	白浜町																					
アイデア名称	耐災害ネットワークを活用した転職なき移住の実現																					
連携自治体、企業、団体等	国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、ナシユア・ソリューションズ株式会社、和歌山県																					
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	(種類)	①	(左記が①の場合の分野)																			
	<p>観光・防災</p> <p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <p>① 国土強靱化で整備された耐災害性を有するネットワーク（NerveNet）の実装環境の整備と平時利用を促進し、BCPに強い町として企業誘致・ワーケーションの推進を図る。</p> <p>② 観光客や地域住民が普段から活用しているサービスやアプリケーションを災害時でも活用出来る様にする事で、災害時における情報弱者の撲滅を図る。</p> <p>③ 信頼性の高い有用な環境を提供することで、自治体は利用者データ等を適正な手順で取得し、そのデータに基づく住民サービスや勧誘・マーケティング施策を講じることが可能となる。IoTセンサー、モビリティ、カメラなどからの情報収集も同一ネットワーク内で実施できる。</p> <p>【解決する課題の具体的な内容】</p> <p>① 災害時において来訪者や住民を情報弱者とさせない。災害時には基地局から衛星通信接続を行い、平時と同様のネットワーク環境とインターネット通信を確保することによりBCPの強靱化を図る。衛星通信はBCPに特化した運用を行い、コスト低減を図る。</p> <p>② 現状情報発信の一方通行となっており、ワーケーション利用者や地域住民、観光客への適切なフォローが行えていないため、情報取得の同意管理の仕組みを導入し、地域の観光産業等がデータに基づくマーケティング活動を行うことができる基盤を作る。同時に適切な個人情報保護を行うことにより、国内法のみならず、インバウンド等に向けた海外基準にも充足させる。</p>																					
デジタルの活用により目指す成果（数値）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">実装後</th> </tr> <tr> <th>1年目</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規企業誘致数</td> <td>2社</td> <td>3社</td> <td>2社</td> </tr> <tr> <td>ワーケーション視察団体数</td> <td>20社</td> <td>30社</td> <td>30社</td> </tr> <tr> <td>ワーケーション関係人口補足数</td> <td>200人</td> <td>300人</td> <td>300人</td> </tr> </tbody> </table>			項目	実装後			1年目	2年目	3年目	新規企業誘致数	2社	3社	2社	ワーケーション視察団体数	20社	30社	30社	ワーケーション関係人口補足数	200人	300人	300人
項目	実装後																					
	1年目	2年目	3年目																			
新規企業誘致数	2社	3社	2社																			
ワーケーション視察団体数	20社	30社	30社																			
ワーケーション関係人口補足数	200人	300人	300人																			

<p>本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>【本事業の特色】</p> <p>(1) NerveNet はメッシュ状に張り巡らされたサーバレスワイヤレスネットワーク網であり、基地局同士が自動的に相互接続し、基地局の一部に障害が発生しても直ちに別ルートに切り替わり通信を確保できる。</p> <p>(2) ネットワーク内での独立した通信環境構築を目指し、災害時ネットワークがキャリアネットワークから寸断されインターネット接続から遮断されても、Nervnet 基地局に衛星通信を実装させ衛星通信回線からインターネット通信を確保することができる。</p> <p>(3) メッシュネットワークのホップアップ接続を用い、容易に多様なネットワークエリア (Wi-Fi・5G・LoRa 等) を広げることが可能となる。また、利用量が増加した場合も基地局を増やす事で、容易に通信量のスケールアップも可能となる。このことは、更なる横展開を行う際の用途に併せ、大規模から小規模まで対応した展開が可能である。</p> <p>(4) 本メッシュネットワークは同一の基地局でフリーWi-Fi だけでなく VPN でのネットワーク構築が可能(ネットワークスライミング機能)であるため、平時災害時問わず高セキュリティが必要な医療データや住民情報などのやり取りも可能である。</p> <p>(5) 接続者の属性等の情報を取得するにあたり、改正個人情報保護法に準拠した同意管理システムを本ネットワークや白浜町の HP など必要な箇所に導入し、適切な情報の取得環境とする。これにより今後のインバウンド等への対応 (GDPR や CCPA 等) も併せて行う。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>令和4年度事業 (デジタル田園都市国家構想推進交付金事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NervNet 基地局設備更新、基地局追加 ・基地局への無停電装置設置 ・非常時通信機能構築 ・属性情報取得サービス構築 <p>令和5年度以降事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続スポット追加などエリア拡大促進 ・属性情報機能によるアンケートや情報発信事業 ・紀南地域での横展開による平時・災害時のサービス強化

